

# 世界遺産通信

IN 本宮小学校

vol.01

令和5年7月

和歌山県世界遺産センター発行

～世界遺産学習全国サミット inたなべ～

## 本宮小児童が語り部



6月19日に、大斎原にて森林学習でキャンプに来ていた田辺市立新庄第二小学校22名に田辺市立本宮小学校の6年生12名が熊野本宮地域の魅力を伝える語り部が行われました。

総合的な学習の時間の取り組みとして毎年行っている語り部学習。写真パネルを使いながら新庄第二小5年生の子どもたちに世界遺産に登録されている資産の説明や、本宮の良いところなどを説明したり、鼻かけ地蔵の寸劇をしたりするなどあっという間の時間となりました。

発表者は、声の大きさや写真パネルに指をさすなど聴く人が分かりやすい工夫をしていた。聞き手は、一生懸命メモを取る姿が見られ、お互いに素晴らしい時間となったのではないのでしょうか。

## 語り部を受けての感想



鼻欠地蔵の劇が面白く、怖さも伝わってきて良かった。

熱心に熊野や大斎原のことを教えてくれて嬉しかった。

(新庄第二小 児童)

話し方に工夫があり、とても聞きやすかった。きっと、私たちのためにたくさん練習してくれたんだろうなと思った。(新庄第二小 担任)

## 交流することで生まれる一体感

学習後、お互いが緊張している状況の中、インタープリターの2人が場をほぐすためにアイスブレイクと学校別クイズ大会を行った。金さんは、体を動かしながら一体感を感じる遊びを、中川さんは、語り部学習で学んだことをクイズにして競う形に。子供たちは目の色を変えて答えを友だちと話し合っていて答えていた。緊張している場が笑顔に変わり、短い時間ではあったが楽しい交流の場となったのではないのでしょうか。



語り部を行った大斎原に向かう子供たち

## 本宮小学校 田中校長先生の感想

半年ぶりなので、緊張したところもありましたが、本宮のよさをしっかり伝えられたと思います。新庄第二小からこのような機会をいただいたことは感謝しています。これまでの活動を聞きたいと思う人たちがいるということ、本宮でしか学べない特別な学びにプライドを持って欲しいとお話しされていました